

# 授業科目 視覚機能学演習 I

【担当教員名】 石井 雅子 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：G10】 視能訓練士として必要な医療コミュニケーションの理論と実践方法を体系的に学習することを目的とする。医療従事者相互、医療従事者と患者間における医学・医療分野に関係した知識や情報のやりとりを円滑に進めるためにコーチングコミュニケーションの手法を取れ入れる。眼科部門で想定される具体的な実践例の紹介と課題の分析を行う。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療現場での基本的なコミュニケーションの基本的な心構えを理解できる</li> <li>2. 対象者との関係を築くコミュニケーションを理解できる</li> <li>3. 主体的な行動を引き出す支援を説明できる</li> <li>4. チームワークの一員として仕事を進めることを理解できる</li> <li>5. その人らしさを大切にコミュニケーションを理解できる</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、プレゼンの手法			1-5	講義：石井雅子
2	ケアコミュニケーションの基本的な心構え			1	演習：石井雅子ほか
3	ケーススタディ			1	演習：石井雅子ほか
4	対象者との関係を築くコミュニケーション			2	演習：石井雅子ほか
5	ケーススタディ			2	演習：石井雅子ほか
6	対人理解と行動化の支援			3	演習：石井雅子ほか
7	ケーススタディ			3	演習：石井雅子ほか
8	チームワークとコミュニケーション			4	演習：石井雅子ほか
9	ケーススタディ			4	演習：石井雅子ほか
10	その人らしさを大切にコミュニケーション			5	演習：石井雅子ほか
11	ケーススタディ			5	演習：石井雅子ほか
12	医療コミュニケーションの手法			5	演習：石井雅子ほか
13	医療コミュニケーション ロールプレイ			1-5	演習：石井雅子ほか
14	課題			1-5	演習：石井雅子ほか
15	課題			1-5	演習：石井雅子ほか
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ケア・コミュニケーション		ウィネット	2,000円＋税
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 授業参加状況、提出物、定期試験の結果で総合評価する。			【履修上の留意点】		